

「花と名水、美し色の山梨へ」キャンペーン閉幕と 今後に向けての共同声明

本日をもって「花と名水、美し色の山梨へ」キャンペーンが閉幕する。山梨デスティネーションキャンペーンのセカンドステージとして、本年4月より実施した今回のキャンペーンでは、「清流と甲斐駒ヶ岳周遊バス」をはじめとする二次交通バスの運行や、旧型客車「レトロ号」などのイベント列車の運行、富士芝桜まつりや甲斐善光寺御開帳をはじめとする各地域のイベントの実施など、様々な取り組みにより、多くの成果をあげることができた。

これは県や市町村などの行政、JR東日本、そして県内の民間団体が官民一体となって取り組んできた結果である。

また、本年4月に設立した社団法人やまなし観光推進機構は、今回のキャンペーンに大きく貢献するとともに、今後の取り組みの中心となり、積極的な事業展開を図っていくものである。

これらの取り組みを継続し、強化していくため、県とJR東日本をはじめとする関係者がより強く連携して、山梨県の魅力ある観光資源や人材をさらに磨きあげるとともに、二次交通や新たなイベントなどの充実に努め、今後の一層の飛躍を期するものである。

平成21年6月30日

山 梨 県 知 事
横 内 正 明

東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 八王子支社長

高 野 裕 一

